

被はらへ 詞ことば

掛けまくも畏かしこき 伊邪那岐大神 筑紫の日向の橘小戸の阿波岐原に 御
袷そぎ被はらへ給たまひし時ときに生なり坐ませる被はらへど大神等 諸もろ諸もろの禍まが事こと 罪つみ 穢けが有あらむ
をば 被はらへ給たまひ 清きよめ給たまへと白ます事ことを 聞きこし食めせと 恐かしこみ恐かしこみも白ます

三 語 (三回奉唱)

諸もろの罪穢つみ被はらひ袷みそぎて清すが々し
遠とほつ神かみ笑ゑみ給たまへ稜威いづの御靈みたまを幸きはへ給たまへ
天あまつ日嗣ひつぎの栄さかえ坐まむこと天地あめつちの共無窮むたごしへなるべし

三 山 拜 詞 (三回奉唱)

綾あやに綾あやに奇くしく尊たふと 月山神つきのみやまのかみの御前みまへを拜おろみ奉まつる
綾あやに綾あやに奇くしく尊たふと 出羽神いでのはのかみの御前みまへを拜おろみ奉まつる
綾あやに綾あやに奇くしく尊たふと 湯殿山神ゆどのみやまのかみの御前みまへを拜おろみ奉まつる